

マイスターのささやき「レンタカーで巡る 世界遺産！」

大阪府豊中市 世界遺産マイスター 森瀬 英司

◇第1話「イエローストーン国立公園（アメリカ合衆国）」

子供の頃から自然の成り立ちに興味があり、地球が造った数々の風景を観てきましたが、この10月に、待望の世界初の自然遺産、『イエローストーン国立公園』を訪れることができました。

世界71カ国を廻ってきた私は、他のアメリカの自然遺産である『ヨセミテ国立公園』や『グランドキャニオン国立公園』を訪れていたものの、なぜ今までイエローストーンには行かなかったのか？ アクセスが難しいからか？ 当時の私にはあまり魅力を感じられなかったのだろうか……？ と、自問自答しながら、今回の旅をプランニングしました。

レンタカーでの起点をソルト・レイク・シティに決め、イエローストーン国立公園を主に他の国立公園を含めた約3,200マイルを走る予定で出発。ソルト・レイク・シティからアメリカの平原、山岳地帯を走り、ジャクソン（ワイオミング州）、グランド・ティトン国立公園を経て、2日目にイエローストーン国立公園の南口ゲートをくぐりました。

イエローストーン国立公園は、確かに入口から園内までのアプローチが長く、車の高度が徐々に上がり、ピークを越えて、公園の核心部へと入っていく瞬間は、心が躍りました。

イエローストーンは今から210万年前と64万年前の2回、スーパー・ボルケーノの大噴火で造られた広大なカルデラで、約1万年前に現在の姿となった。その面積はおよそ四国半分の広さがあり、車道のピークはその外輪山となります。

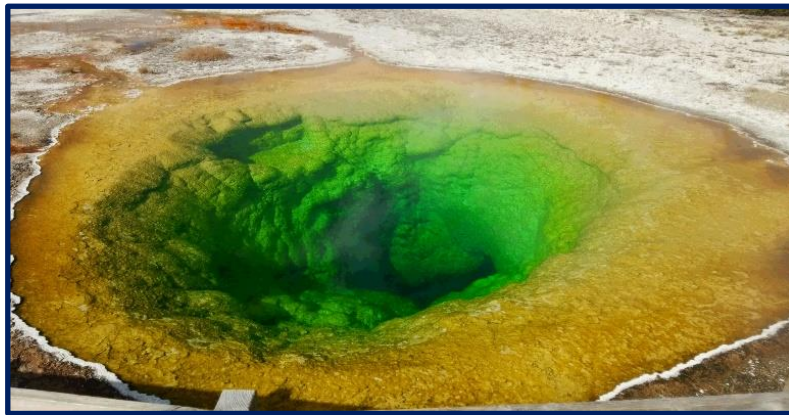
このスーパー・ボルケーノは今でも活発に活動していて、「ロッキー山脈の火薬庫」と呼ばれています。いつなにか再噴火してもおかしくありません。現に、地下深くから休みなく供給される熱とエネルギーが生み出す熱水現象が、公園のいたるところで見られます。当時まさしくその地に自らの足で立ったことは、感動以外のなにものでもありませんでした。

やがて車は原始林の中を抜け、ほどなくして、世界中から観光客が集まるガイザー・カントリーに到着しました。

有名な間欠泉オールド・フェイスフル・ガイザーから、観衆を決して裏切らない白い湯気煙が、青空高く噴き上げ、大きな歓声に沸き立ちます。



ガイザー・カントリーには、他にも間欠泉や色鮮やかな温泉、マッドポットが数多くみられ、ボードウォークを楽しみながら散策できますが、温泉の臭いには慣れている我々日本人でも、いささか鼻をつまみたくになってしまう強烈さがあります。



熱水現象に加えて驚かされるのは、このボードウォークや温泉の傍にたくさんのバッファロー（アメリカバイソン）が群れをなして草を食んでいることです。間近に、いやむしろ、向こうから近づいてくるのです。



野生動物に近寄ると警告標識はあるものの、物珍しさから、つい写真撮影に足を進めてしまいました。しかし、彼らがここイエローストーン国立公園の主であることを忘れてはいけません。

広大な草原に、野生動物たち。

壮大な景観は、イエローストーンの大きな魅力のひとつです。

バッファローたちは、道路も群れで闊歩します（笑）。

車はしぜんと停止。

野生のたくましさ以上に、愛らしさを感じさせます。



イエローストーンは、ご承知の通り、1872 年に世界初の国立公園に制定されて以来、幾多の苦い経験を経ながらも、人間の手をつけない“wilderness”の概念を標榜し続けてきました。

生態系の再構築にも成功し、オオカミもよみがえったことは有名な話です。

噴き出る熱水現象を脇見しながら、テラス・マウンテンのあるマンモス・カントリーに到着。
ガイザー・カントリーから約 50 マイル離れたこちら、広大な敷地です。

テラス・マウンテンは温泉に含まれる石灰分で形成された棚、あるいは、温泉段丘とも言われ、白を基調とした色合いが変化しているのが見所です。トルコのパムッカレや中国の黄龍の情景と重ね合わせているうちに日暮れとなり、慌てて今夜の宿であるウエスト・イエローストーンに戻りました。

翌日はイエローストーンの名前の由来ともなった、イエローストーン大峡谷へ。氷河と川の浸食でできた大峡谷にかかる滝を色々な角度から眺めているうちに、アジアからベーリング・ブリッジを渡ってき、かつて人類の祖先も、大自然の雄大な景色にさぞや感動したことだろうと、しばらく、いにしえに想いを馳せました。

イエローストーン国立公園の、最大かつここでしか体験できない魅力。

それは、地球の息吹の壮大さを、野生動物たちの wildlife を、身近に、手に取るように、感じられることです。

そのままの自然環境を自由に楽しむことのできる時間を求めて、年間 350 万人もの人々がここを訪れる規模も、さすがアメリカのロードパーク！ と感心します。世界初の国立公園であり自然遺産であるこの地を十分に満喫した私は、琵琶湖の半分の広さもある火口湖の岸辺を通り、公園ゲートを後に、次の目的地へと車を走らせました。

イエローストーンは生きているのです！！

☆小さなささやき(余談)

久しぶりに訪れたアメリカだったので、運転中に目に入ってくる度量衡に違和感がありました。

- ・速度と距離はマイル（Mile）表記 [例：制限速度 70/Jackson 120] 。

Km ではないので速いし、遠い！

歩道では Yard 標示も（これはゴルフをするので分かり易かった）。

- ・公園内での高度標示は Feet [例：Elevation 6384]。

メートル表記だと数値がより高くなりますが、フィートでは意外と低いものですね。

- ・車内の温度表記は「華氏 78℃」。摂氏では？

実際温度は肌で感じるしかありません。アメリカ人はどこでも T シャツ、半パンなので一見で分かりません。

- ・ガソリンスタンドでの価格表示「US\$2.86」は、1 ガロンなのか 1 リッターあたりなのかも分かりづらいです。

アメリカで運転されるご予定の際は、頭の片隅に覚えておいてください。

以上